

お〜い	月刊	平成24年 130
	発行	9 月号
		「お〜い」編集委員会 品川区西大井 4-1-8 大井第三地域センター内 ☎ 3773-2000

大災害時の「避難所運営訓練」を 大井第一小学校にて実施



実施日：平成24年7月1日（日）
AM9：30～AM11：30

参加者：大井庚塚町会、大井倉田町会、大井鹿島町会（車椅子の要援護者1名を含む）大井第一小学校大島校長、辻松副校長 大井警察署戸田警備課長以下警察官各2名が各町会会館集合時より防災服にて参加 防災課、大井第二・三地域

センターより7名 大井第一小学校おやじの会10名 合計120名

訓練内容：避難所受付訓練...災害時避難所に集まった人々の名簿と名札を作成しました。

要援護者を車イスで大井第一小学校迄搬送、到着の確認を行いました。

避難所の体験...町会毎に決められた教室（入口に町会名が常記されている）に入り支給された毛布にくるまって寝ました（1名/1畳）。食料の配布を受けました。

大井第一小学校内の備蓄倉庫（地下）見学...毛布、アルファ米、カンパンがあります。

講評：大島校長より災害時避難場所としての準備が日頃から行われている、また榎本本部長（大井庚塚町会長）より日頃の訓練とその継続の重要性を各町会内に更に広めていく、大井警察署は避難所運営訓練に積極的に参加し、地域センターや防災課は更に区として支えていくとの講評がありました。

120名の当日訓練はまさにその各認識が一体となって迫力をもって行われました。各町会地域の皆様も9月23日（日）に行われる大井第二・第三地区合同防災訓練やその他各種防災訓練に積極的に参加されるようお願いすると同時に、大災害の際には各地からの援助物資到着まで最低でも72時間程度の食料と水の各家庭での備蓄を持つことを品川区では勧めています。（小林 記）



♪ 幼稚園・保育園めぐり ♪

富士見台 保育園

昭和49年に設立し、児童センターと同じ建物の中にあります。原っぱ公園に面している園庭には四季折々の草花が咲き、実のなる木々もたくさんあります。緑豊かな恵まれた環境のもと、子どもたちが楽しく豊かな経験ができるよう、保育教育活動を行っています。上神明小学校とスクールステイ事業や交流活動を行い、スムーズな小学校への接続ができるように連携を進めています。年長児は特別養護老人ホームの雑巾がけなどを行い、地域に根ざした保育園として、少しずつふれあいの場を広げています。

（富士見台保育園 青木園長 記）

地域コミュニティと防災力

乗り越えるべき3つのハードル

地震発生直後から再建までのポイントは

いのちをまもる（72時間）

くらしをまもる（数ヶ月）

くらしの再建（数年～10年）

2004年震度7の新潟県中越地震を経験した高校生の作文が訴える、その時々の大切な行動について説明します。

まず地震発生直後から72時間は「いのちをまもる」がポイントです。これは自分のいのちをどのようにして守ったか、大切な人のいのちをどのようにして守ったか。家族の安否、そして、家族と地域のコミュニティがあってこそ「命が守られた」と訴えています。

次に生き残った人たちのくらしをまもるために、避難所生活の困ったことや、みんなと協力してお互いに助け合ったことが、いかに大切であるか訴えています。

そして、くらしの再建は、家の片付けからスタートし、地域の方や市外・県外から来てくれたボランティアさん、また自衛隊のみなさんの協力と、また何よりも被害にあった人達自身も救援活動を行うことが、大切だと訴えています。

（品川区町会塾資料より抜粋）